

サンクゼールの森プロジェクト

2024年度

年次報告書

2025 年 3 月

**信州大学教育学部森林生態学研究室
(森ラボチーム)**

1. これまでの取り組みと2024年度の概要

2013年にサンクゼールより信州大学教育学部森林生態研究室井田のもとへサンクゼールの森のお話があり、2014年に井田研究室の学生、松田ら専門調査協力スタッフが参加して植物などの調査を行いました。その後2016年よりサクラソウなどの希少植物や動物などの調査を継続して行っています。

(株)サンクゼールの環境保護の取り組みとして、森林保全、生物多様性をうちだし、2022年度から久世良三会長、久世良太社長を含めたプロジェクトミーティングが立ち上がりました。

2024年3月には、サンクゼールの森が環境省の自然共生サイトに認定されました。自然共生サイトは、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域が環境省により認定され、国際的なネイチャーポジティブ実現に向けた取り組みです。

2024年度の活動としては、エリア拡大にともない、生き物データの更新として昆虫調査を再開しました。春植物、サクラソウ、哺乳類の調査は継続して行いました。春の観察会には多くの参加があり、今年度は新たに冬の観察会を行いました。講演会も信濃町オフィスだけでなく、多くの方に参加いただきました。プロジェクトミーティングで情報共有し、整備の方針等も検討されました。

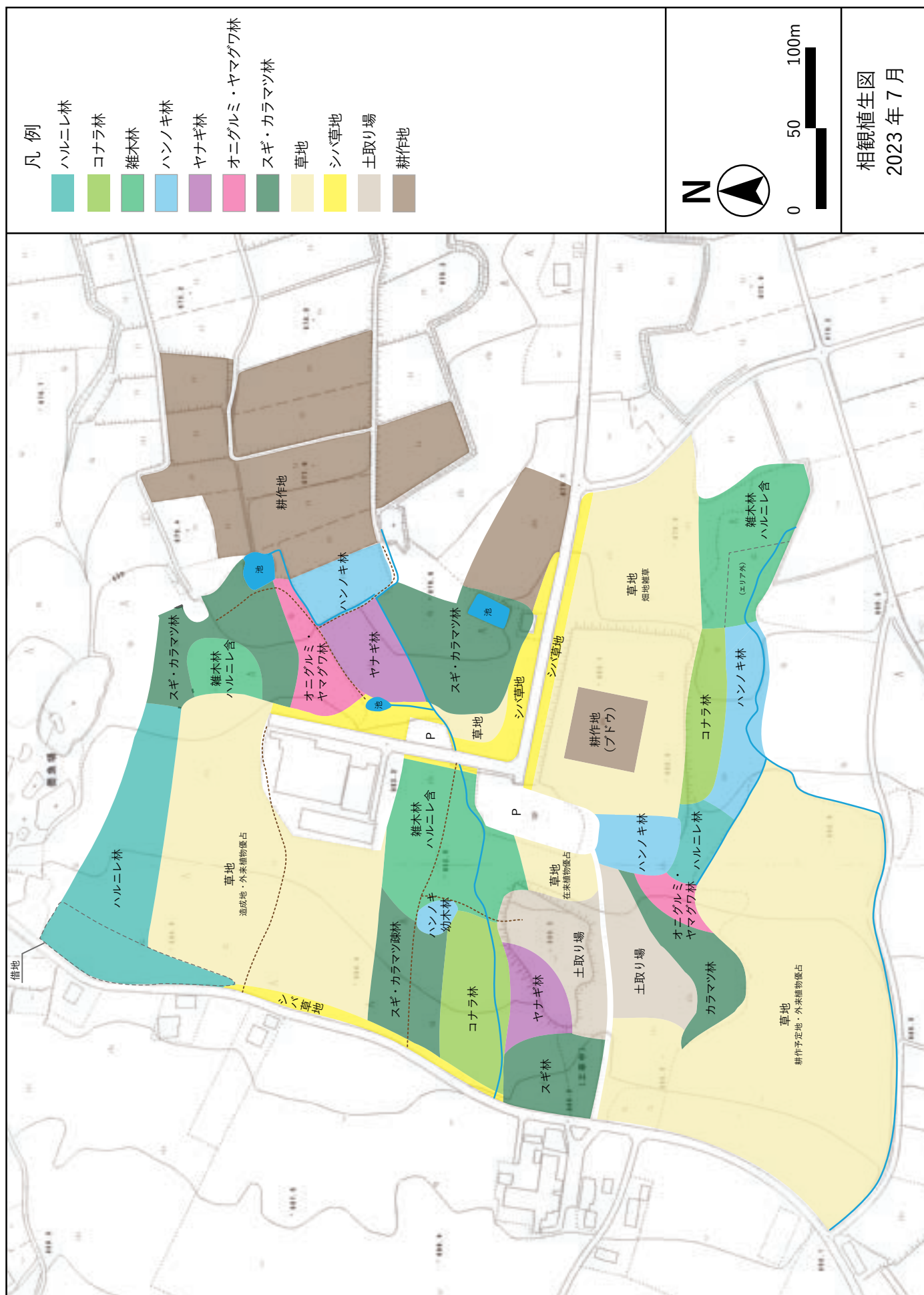
拡大したエリアを含む植生図を次ページに示します。

これまでの取り組みの概要

年度	打ち合わせ他	整備(信大)	観察会他				調査								その他
			観察会	講演会	森だより	アンケート	植生	植物相	毎木調査	春植物	サクラソウ	鳥類	哺乳類	昆虫	
2013	顔合わせ						植生図	○							
2014				○			植生図	○	○			○			
2015	今後の打ち合わせ														
2016	大平林業さんを含めて打ち合わせ	北園路マーキング	○				コード			○	○				
2017		マーキング	○	○	○		コード			○	○	○レコーダー	○		
2018		マーキング・除伐	○研修	○	○					○	○	○	○	○	
2019	会長他林内踏査	樹木名前付け	○		○					○	○	○	○	○・トラップ	
2020	(コロナ禍)				○						○		○	○	
2021	会長・社長他現地踏査	社員・信大で整備	○							○	○		○	○	
2022	プロジェクトミーティング	社員・信大で整備 カラマツ・コナラの 一部伐採	○		○	○	図改訂			○	○		○		
2023	プロジェクトミーティング OECM	社員・信大で整備 南園路の整備	○	○			図改訂			○	○		○		伐採跡地の調査・ 生き物データ 2014-2022
2024	プロジェクトミーティング	カラマツ伐採地周辺の 整備	春 冬	○						○	○		○	○	



自然共生サイト 認定証



2. 2024 年度の活動記録

森ラボチーム（信州大学教育学部森林生態研究室（井田秀行教授）と専門調査協カスタッフ）の 2024 年度の活動を報告します。

2024 年度の年間スケジュール

2024 年度は以下の計画でスタートしました。

2024 年度計画

4 月～11 月 センサーカメラ設置

4 月～9 月 昆虫調査

4 月 春植物調査

5 月 サクラソウ調査

観察会（ネイチャーウォッチング）2 回程度

社員有志メンバーとの森整備 2 回程度

社員向け自然学習講演会（森ゼミ）

プロジェクトミーティング年 5 回程度



2024 度の活動実績

2024 年度の活動の実績は下記の通りになります。

2024 年 4 月 4 日 オンラインミーティング

4 月 26 日 プロジェクトミーティング、春植物・昆虫調査・センサーカメラ

5 月 8 日 社員有志の整備に参加

5 月 18 日 観察会ネイチャーウォッチング・サクラソウ調査

6 月 10 日 プロジェクトミーティング・カラマツ伐採跡地の整備

7 月 18 日 森林整備（踏査・カラマツ伐採跡地周辺）・昆虫調査・センサーカメラ

8 月 24 日 センサーカメラ

9 月 10 日 昆虫調査・センサーカメラ

10 月 3 日 センサーカメラ

10 月 28 日 プロジェクトミーティング・踏査

12 月 3 日 プロジェクトミーティング・センサーカメラ

2025 年 1 月 15 日 プロジェクトミーティング（オンライン）

1 月 31 日 講演会 森ゼミ

3 月 1 日 観察会ネイチャーウォッチング 冬

森ラボチームミーティング随時（スラック、オンライン他）



3. 2023 年の観察会・講演会

(1) ネイチャーウォッチング春

5月18日 8時すぎから準備 9時30分から12時

- ・久世良太社長ご家族はじめ30名の参加
- ・はじめに河原さんより OECM の話。学生さんの進行で自己紹介、アイスブレイク、井田先生のサンクゼールの森の話。
- ・学生さんによるこども楽しむプログラムと学び楽しむプログラム4コース
- ・A～Dは①10:40～11:10 ②11:20～11:50 2回実施し、参加者に希望のコースを選択してもらう。
- ・A【森の色をいただきます！ by 井浦】
草木染め。ちょうどキハダの倒木があり良い色が出た。キハダだったので、30分でゴムの絞りを取るとこまで出来た。染めのあと、色抜きして「サンクゼールの森」の文字入れもできた。社内で飾っていただけるとのこと。
- ・B【動物フィールドサイン by 丸山】
オニグルミ実の食痕が多くある場所で貯食習性があるニホンリスとアカネズミの食痕の違い、両種とオニグルミとの共進化などを説明。また、積雪時につくられたハタネズミの坑道跡や上記2種を含めた3種がキツネなどの重要な食糧になっていることなど。
- ・C【今年もたくさん咲いたかな？サクラソウを観察しよう by 桜井】
サクラソウをまだ見たことのない人、見たことある人ともに参加。サンクゼールの森のサクラソウの増減（花の数）をグラフ化したものを用意。どうして増減しているか考えてもらう。サクラソウの繁殖の特徴を解説（株で増えるが種子繁殖も大切、種子をつくるための戦略の解説、短花柱花・長花柱花があることやマルハナバチ等訪花昆虫との関係性など）→実際にルーペやスマホ撮影で花を観察し、ほとんどが短花柱花で僅かに長花柱花があることを確認→サクラソウを保全するためには観察場所だけでなく、サンクゼール内の他の自生地やサンクゼール周辺の自生地との遺伝的な交流も大切という説明した。
- ・D【わたしの自然文様をつくろう♪ by 松田】
場所は北のハルニシ林。家紋などの日本古来の文様の紹介をしたと、各自、自分が気になる自然（植物が多かった）をみつけてデザインしながら描いてみる。最後にみなでシェアする。
- ・午後から学生さんも学びプログラムをやりたいとのことで、コアメンバーでもう一度4コース行う。



ネイチャーウォッチング 春

サンクゼールの森 ネイチャーウォッチング

「サンクゼールの森」にはこの地域の豊かな自然が息づいています
わくわく発見しながら、5月の森と仲良くなるう♪

【日時】 5月18日土曜日 9:30～12:00
【集合場所】 本社玄関前

【プログラム】

- 9:30 あいさつ、紹介
- 9:50 井田ハカセの森のはなし
- 10:20 各プログラム場所へ移動

学び楽しむプログラム

1回目 10:30～11:00
2回目 11:10～11:40
A、B、C、Dコースのなかから選んでGO!

遊び楽しむ子どもプログラム

10:20～11:45
信大の学生さんたちによる企画!

思いっきりたのしい企画！
を考えてます！
おたのしみ！

【Aコース】
森の色をいただきます！

森の葉っぱで絞り染めをしてみましょう。植物（少し虫たち）がつくり出す色の不思議。どんな色に出会えるかな。草木染めには暮らしの知恵もあるのです。
2回目の方は少し薄い色になります。小さいですが、作品は持ち帰ることができます。

【Bコース】
動物のスペシャリストとフィールドサインを読み解こう

畑で暮らす小さな動物たちはだれ？どんな暮らしをしている？動物たちが残したフィールドサインを読み解いていくと、自然をみる解像度がぐっと上がります！
人の営みと重なりながら命をつないでいる動物たちの暮らしをのぞいてみましょう。

【Cコース】
**サンクゼールの春の森の目玉！
今年もたくさん咲いたかな？サクラソウを観察しよう！**

サクラソウはサンクゼールの森で守りつづけた大切な存在。ヤブを払って日当たりをよくするなどの手入れを行っています。
今年は何れくらい花が咲いたかな？増えたかな？まだ見たことない人はぜひチェック！みんなで今年のようすを観察してみましょう。

【Dコース】
わたしの自然文様をつくろう♪

日本の人々は古くから自然をデザインした「文様」をつくりだし、親しんできました。どの文様にも人々の思いが込められています。サンクゼールの森のなかにも素敵なデザインが隠れていますよ。自然を観察しながら、あなただけの文様をつくってみましょう！
「自然を感じる」ネイチャーゲームです。

井田ハカセの森ラボチーム（信州大学教育学部 森林生態学研究室）



はじめの会



遊び楽しむ子どもプログラム



サクラソウの観察



サンクゼールの森で



わたしの自然文様をつくろう



森の色をいただきます！草木染め

(2) 講演会

サンクゼールの森をおもしろく学ぶ！井田ハカセの森ラボチーム特別教室

2025年1月31日 13:30～15:00

これまでのサンクゼールの森の活動の紹介の他、絵本によるブナの紹介（井田）、社員さんからの質問答える形で森ラボチームがトークし、サンクゼールの森や自然について理解を深める機会となったと思います。当日は信濃町オフィスの会場は満席状態で、オンラインで全国の社員さんにも配信されました。

当日回答しきれなかった質問には、後日文章で回答させていただきました。

井田ハカセの森ラボチーム特別教室 タイムスケジュール

開始	終了	時間	内容
13:00	13:30	30分	事前打ち合わせ・最終確認
13:30	13:35	5分	開会のあいさつ／河原さん
13:35	13:45	10分	先生方の自己紹介タイム
13:45	13:55	10分	サンクゼールの森の活動紹介
13:55	14:10	15分	第1パート：井田先生の研究をご紹介します
14:10	14:50	40分	第2パート：事前質問に答える＆トーク
14:50	14:55	5分	良太さんよりお礼のことば
14:55	15:00	5分	良三さんよりお礼のことば
15:00			終了



井田ハカセの森ラボチーム特別教室

(3) ネイチャーウォッチング 冬

2025 年 3 月 1 日 10:00 ~ 12:00

参加者は親子連れを含む約 30 名

森ラボチーム 井田、丸山、松田、櫻井、井浦、学生 2 名

2 月は雪が多く、サンクゼールの森も 1 m を越える積雪のなかスノーシューを履いて森を散策しました。動物の足跡を観察したり、木の冬芽を観察したり。何も無いような冬の森の中でも、色々なものが観察出来ました。気持ちの良い晴天で、近くにありながら、なかなか立ち入れない雪の森を歩く体験ができて良かったと思います。

観察後は、森の木を伐採した薪で焚き火をし、お茶などの振る舞いもあり、楽しく過ごせました。



ネイチャーウォッチング 冬



はじめのお話



スノーシューをはいて



動物の足跡観察



ウバユリの種の観察



雪のサンクゼールの森



暖かい飲みもの



焚き火でマシュマロ焼き

4. サンクゼールの森の整備

(1) 社員有志の整備に参加

5月8日の社員有志の整備に参加しました。作業の支障になる落枝の除去などをみなさんといっしょに行いました。また、春の花の観察もできました。秋の整備には日程が合わず参加できませんでした。



5月8日 社員有志の整備

(2) カラマツ伐採地および周辺の整備

6月10日にカラマツ伐採地の下草刈りをサンクゼールの水越さんで行った。ハルニレなどを残しながら手鎌で刈り取った。カラマツ伐採地は、針葉樹からの樹種転換、森の下草管理の実験調査区として、整備また調査をしています。

7月18日には、カラマツ伐採地周辺部もハルニレなどを残しながら手鎌で下草刈りをしました。また、サンクゼールの水越さんと森全体を踏査し、植生状況を確認し、今後の植生整備について検討しました。森ラボチームからの植生整備の提案は資料編に掲載。



6月1日 カラマツ伐採地の下草刈り
ハルニレなどにマーキングし残している

5. サンクゼールの森 現地調査（生きもの調査）

2024 年度は、エリア拡大にともない昆虫調査を再開した他、サクラソウ調査、春植物調査、哺乳類調査（センサーカメラ）を継続して行いました。

調査結果は資料編に掲載。



サクラソウ 5/18 調査



春植物（キクザキイチゲ）4/26 調査



哺乳類調査（南園路センサーカメラ）